

## 令和元年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立春日小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

平成31年4月18日(木)

### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査(国語、算数)

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力等に関わる内容など

#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

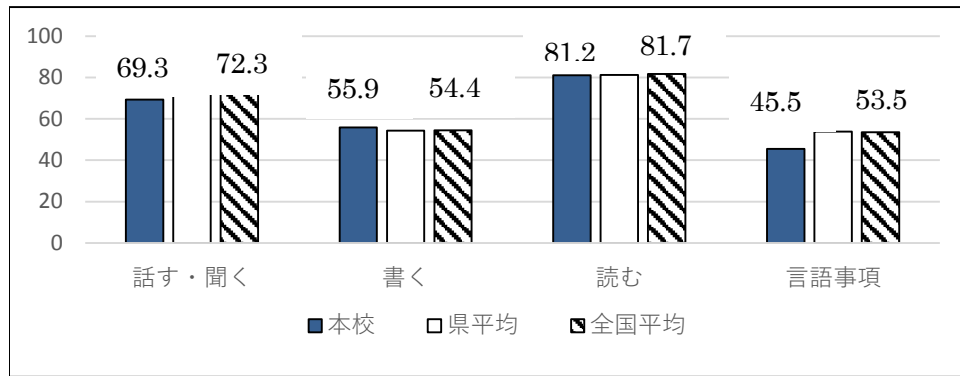
### ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は、小学校では6年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり、「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご欄ください。

## ■ 調査結果及び考察 (全国・県の正答率との比較をもとに)

### 1 国語

#### (1) 結果



国語科全体の正答率(61%)では、総じて県平均・全国平均(63.8%)とほぼ同じレベルにあります。「書く能力」について、全国を若干上回りました。また、「言語についての知識・理解・技能」については、漢字の読み書きで、大幅に全国を下回っています。無解答(未記入)は、今年度はかなり減りました。成績分布では、上・中位者と下位者の割合に差があり、若干二極化していると言えます。

#### (2) 成果と課題

##### 話す・聞く

・インタビューをする際、相手の反応を見ながら、どんな言葉で尋ねたら聞きだせるか、この設問の正答率が低かったです。授業では、目的と相手に応じた問いかけ方が自分で選択できるようになることが必要です。

##### 書く

・調べて分かったことを文章から見出して、それを結論としてまとめる設問で、全国平均を下回っていました。日頃から、問題文に対応した情報を的確につかみ、それを整理して文章化する活動が必要です。

##### 読む

・大きく、県平均・全国平均を下回った項目はありませんが、正答率が3割弱の設問がありました。それは、問われていることについての的確に文章にまとめる問題でした。どの部分が結論につながっているのか、文章を見極めて、大事な言葉を落とさずに整理することが課題です。

##### 言語事項

・漢字の読み書きの問題は、全国平均を下回っていました。「かんしん」という漢字は、関心、感心、歓心などたくさんあります。文脈から意味をつかんで、適切な漢字を選んで正しく記述することが課題です。

#### (3) 学力向上のための取り組み

##### 【学校では】

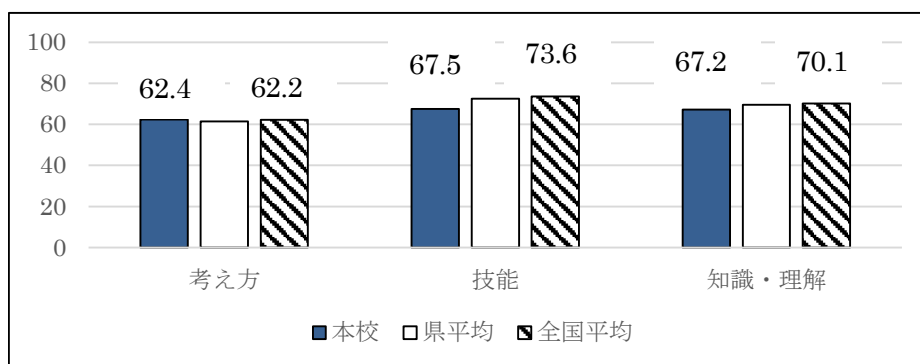
- 自ら追求して説明できるような活動を仕組みます。そして、調べたことを書いたり、調べるために質問したりする活動を大切にします。また、自分の考えと友達の考えとを照らし合わせて互いの違いをもとに、文章を読み返して確認するなど、考えながら読む活動を多くします。
- 漢字については、ただ、書き写すよりも、意味や使い方を考えて文の中で適切に書かせます。漢字の正しい活用を含め、主述や修飾、文章の組み立てに着目した読解ができるようにします。

##### 【ご家庭では】

- お子さんの音読を楽しく聞いてあげたり学習ノートを見ていただいたりして、学習内容を把握してくださると、会話も増え、学びのつながりも意識できるでしょう。ほめるところをできるだけ見つけていただいて、お子さんに伝えていただけたらありがたいです。
- 親子読書は互いの心の温かさがふれあえます。家族間で手紙を書き合ったり読み合うこともいい機会です。テレビや新聞記事からの話題について感想や意見を交流して、考えが深まる経験をもたせることも、今後の学びにつながることでしょう。

## 2 算数

### (1) 結果



算数科全体の正答率(65%)では、総じて県平均・全国平均(66.6%)と同じレベルにあります。「数学的な考え方」については、全国とほぼ同水準ですが、「数量や図形についての技能」では、6ポイント下回りました。無解答(未記入)が昨年は多かったのですが、国語科同様、今年度はかなり減りました。成績分布の特徴としては、上・中位者と下位者の割合の差がやや目立ち、若干二極化していると言えます。

### (2) 成果と課題

#### 数学的考え方

・「考え方」について、「わられる数」「わる数」「商」の言葉を使って文章を書く設問で、正答率が低く(19.5%)、全国との差は10ポイントありました。計算のきまりについて、何が問われているか、どのように説明するのか、示された文章を適切に使って、話したり書いたりすることが課題といえます。

#### 技能

・棒グラフを見て、今のある量が、もとの量の何倍にあたるかを計算する設問で、全国平均を8ポイント下回っていました。割合を求める学習では、比べる量、基にする量の関係を見つけることが課題といえます。また、たし算とかけ算が混在した式については、計算の順序を誤り、正答率が全国より12ポイント低かったです。問題場面を把握し、解決のための式の意味、計算の方法を身に付けることが課題です。

#### 知識・理解

・数量や図形について、ある程度の知識をもち、理解もしていると言えます。しかし、図形についての設問では、台形の形の性質を、言葉でとらえる設問の正答率が若干低かったです。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- グラフや表、図、式や言葉を活用して説明しながら、答えを追求すること。それを、友達と伝え合って、考え方や数量の違いを認識する活動を仕組みます。また、考えたことを文章で記述する活動を多く仕組み、文章表現に慣れて説明書きができるように育てます。
- グラフや表、図などの資料の読み取りが課題です。算数のみならず、社会科や理科で、資料を正しく活用して読み取ったり、表したい情報をグラフや表にしたりして、グラフや表の数値とその背景(事象や現象)を照らし合わせる楽しさをもたせます。
- 朝のスキル学習では、基礎的計算、フラッシュ計算で基礎学力の定着を目指します。また、TT・少人数指導の工夫で、個に応じた指導に一層努めます。

#### 【ご家庭では】

- お子さんのノートや学習プリント、テストに目を通して、学習内容について話題にしましょう。勉強についての話を聞きましょう。そして励ましや称賛の言葉をたくさんかけてください。
- 生活の中で算数を生かします。買い物の際、量と値段でどちらの商品を選ぶか、割引後の代金は、合計支払いの見当など。乗車中には、スピードメーターを見て速度と距離と時間の関係など。数字をもとにお子さんに思考する機会を意識して与えてくださればありがたいです。

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査 (％は、「している。」「どちらかといえば、している。」の合計)

#### (1) 結果

##### 《生活習慣について》

質問事項	本校 %	全国平均 %
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	80.5	81.4
朝食を毎日食べていますか。	96.6	95.3
地域の行事に参加していますか。	59.7	68.0
家の人と学校での出来事について話をしますか。	74.7	77.4

起床や就寝時刻、加えて学習開始時刻を固定しておくことが大切です。朝食は食べていますが、就寝時刻が不規則の子どもが2割程います。学習を含めた寝るまでの過ごし方の見直しが必要と考えます。

また、地域行事とのかかわりが薄いようです。地域の中で生活し、今後、地域社会の形成者として育っていくためにも、地域の行事、地域の友達、地域の大人たちとのこれまで以上のかかわりが求められます。

親子のつながりも同様です。学校や友達のことも家庭で、親子で話せる関係、離したいことを聞いてくれる関係を大切にしてほしいと思います。

##### 《家庭学習の様子について》

質問事項	本校%	全国平均 %
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	73.5	71.5
平日、家で、1時間以上勉強をしていますか。	70.0	66.1
平日、家で、30分間以上読書をしていますか。	31.0	48.8
授業で学んだことを、他の学習に生かしていますか。	79.3	82.8

自ら家庭学習を進めることが自ら学ぶための重要な習慣です。また、自分自身で計画して時間の管理をしながら学習すること生きて働く力と思います。また、これまでの生活時間を振り返らせ、時間の有効な活用について考えさせることで、学力向上へつなげたいと考えます。

また、学校での図書の貸し出し冊数はとても多いですが、家庭での読書時間が少ないようです。テレビやゲームや動画だけではなく、普段から本に親しみ自分から読み進めていく楽しさを味わってほしいと思います。読みながら考え、考えながら読む習慣は将来に生きます。

#### (2) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

- 学級指導、家庭科、保健等の時間を活用して、また、必要に応じて1日の時間の使い方について指導します。学習時間と、テレビやゲームなどの時間や約束など生活習慣を見直させることで、生活の向上を目指します。加えて、読書する生活習慣を身に付けさせていきます。
- 高学年では、自主学習(自学)ノートを進め、自力で自分に合った学びを追求する学習を勧めます。
- 家庭での規律ある生活習慣と学習の大切さ、地域とのつながりの大切さについて、今後もPTAや地域団体との連携を強めていきます。

##### 【ご家庭では】

- 子どもさんとテレビ視聴、ゲームやパソコンの約束をしてください。低学年から、よい習慣を付けるようにすると、けじめある生活ができるようになります。また、「春日っ子振り返り表」の生活チェックを活用し、親子で時間の使い方について振り返ってくださるよう、お願いします。
- 音読を聞いてあげたりノートを見てあげたりしてください。テストや「通知表(あゆみ)」だけではなく、普段から学校での学習についても把握をお願いします。また、日常的に学習について話題にしておくことも、お子さんにとってはやる気につながると思います。
- PTAや子ども会、地域の行事など、地域等で触れ合う機会には、是非参加を勧めてください。